

8881

那泰村附近戰鬥詳報

昭和十四年四月二十四日

獨立混成第二旅團獨立步兵第一大隊

145

0265

25

那慕村附近戰鬪詳報

一、戰鬥前彼我之態勢

一、安北附近之戰鬥ニ快捷ヲ得タル騎兵第一旅團

同配屬部隊ノ主力ハ包頭ニ集結機動態勢

ニ在リシカ薩拉齊地区ノ敵狀亦樂觀ヲ許サ

ス騎兵集團ハ主力ヲ以テ薩拉齊方面黃河

左岸ニ進出セシ敵ヲ擊滅スルニ決シ騎兵第一旅

團ヲ以テ速ニ薩拉齊方面ニ兵力ヲ集結シ五勝

公南方地区ヨリタル敵ノ黃河渡河企圖ヲ破摧

次に西海子南方地区ノ敵ヲ撃滅スルニ

當ラシム當時ノ敵狀附圖第一ノ如シ

2. 旅團八十九以來薩拉齊ニ兵力ヲ集束結情

報蒐集地リシカ二十一日陶田心浩三河進三十一

二十二日ノ兩日三巨リ西海子以西薩拉齊地

区ノ敵ヲ撃攘各要點ニ所要ノ兵力ヲ配置

シ旅團司令部ハ二十二日薩拉齊ニ帰還ス

3. 我大隊ハ附録第一ノ旅團命令ヨリ辻村支隊

(職名表附表第一ノ如シ)トシテ道試附第一ニ

主力ヲ集結シ敵ノ陰山内ニ遁出入防止ヲ任シ
服ニ附圖中ニ如キ配備ニアリ

ニ戦斗ニ影響ヲ及ホシタル氣象地形住民地ノ
状態

八當日ハ天氣晴朗一點ノ雲影ナク地形開闊
展望通視ヲ妨クルモノナシ沙浜崖ハ那泰水築
ノ諸部落ハ約四五軒ヲ間ニテ點在シ各部
落共簡單ナル圍壁ヲ有ス
戦斗指導地区ハ北側ハ岷々々陰山山脉倭軍

87

ハ峻峻攀攀登天ヘカラス所々溪谷深ク山中ニ
入りアルニ車馬ヲ通スルモノナク追撃ヲ當リ
大ニ勞苦ヲ要セリ地方住民ニハ宣撫工作
普ク力多ス我ニ仗スニ好意ヲ有セス我カ行
動力動モスレハ事前ニ曝露サルルノ虞アリ

三彼我兵力、交戦セシ敵ノ團體號、將帥ノ以名、

編成、裝備、素質、戦法

ハ敵ノ兵力

全部乗馬ノ敵約七八〇〇ニテ藍衣軍服ヲ

着し居り

2. 我力兵力

辻村支隊

歩兵一中隊

機関銃二小隊

發煙小隊 (三分隊欠)

戰車一輛

山砲兵小隊 (二分隊欠)

3. 交戦セレ敵ノ團隊號

衛生機關一輛
自動車十部三輛

第二十三軍 伊東遊撃隊第四支隊

4. 裝備、素習、戦法

（1）裝備極に入不良輕機若干ヲ有スル外小銃

ヲ有スルモノ半數ニ滿タサルカ如シ

（2）我高麗三周章狼狽為スト口ヲ知ラス

加フルニ兵器ヲ携フルモノ僅少ナル為カ只各

員身ヲ以テ此避スルニ急ニシテ一部少数ノモ

ノ抵抗セシモ須臾ニシテ敗退セルカ如キ状態ニ

シテ素習良好ナラス訓練亦又極メテ不充分ナ

リ其戦法ノ如キモ無為無策ノ點ヨリ見テ
何等採ルニ足ラサルモノト心思ス

四各時期ニ於ケル戦事經過及関係部隊ノ動作及
連絡施設ノ状態

一 四月二十四日十二時稍過キ「約一千ノ敵ハ薩拉
齊東北方約十六村那峯村ニ在リ」トノ概テ
確實ナル情報ヲ入手セルヲ以テ歩兵中隊
及野砲兵小隊ヲ除ク各隊ハ即時出勤準備
ヲ為サレタリ「アリ」時恰モヨシ十三時三十分

8P

1846

旅團ヨリ電話ニテ附録ヲ二ノ要旨命令ヲ
受領直チニ附録ヲ三ノ支隊命令ヲ下シ十四
時十分勇躍出發ス

出動兵力左ノ如シ

支隊本部

歩兵中隊一、中隊一、小隊

機関銃中隊（三小隊）

發煙小隊、半部

山砲兵小隊

153

0273

衛生機關一部

他第三中隊(小隊欠)機關銃一隊 麥達

召ヨリ又戰車一分隊 龍^龍追及

二十五時五十分 麥達 召西方高地ニ於テ敵騎馬兵
ヲ引キ去リ 那泰村ヨリ山地ニ行進シツアルヲ
見ルヤ支隊長直チ山砲兵小隊ニ沙浜崖東
側高地ニ挺進陣地占領シ 那泰附近ノ敵ニ對シ
射撃セシメ 其他ノ全力ヲ與ケテ 砲彈ノ下
ヲ薦進急進 東部 那泰村東側ニテ 全員下

車支隊全力ヲ展開攻撃ス、當時下達シタル
命令附録第四、五、文ノ如ク其態勢附圖ヲ
三、四ノ如シ

3. 支隊ハ東部那恭村ヲ易々トシテ奪取勢ニ
乘リテ西部那恭村ヲ攻撃ス

此頃、麥達召ヨリ追及ヲ命セラレシヲ三中隊
長ノ率キル歩兵、機關銃各一小隊ハ戦場ニ
到着セルヲ以テ直チニ山脚ヲ沿フテ攻撃ヲ前進
陰山隘路内ニ遁入セムトスル敵ノ側面ヲ攻撃ス

セシム其戰果著ルニキモノアリ敵ハ予期セサル
 我攻撃ニ右往左往算ヲ亂シテ北ニ西ニ西南
 ニ潰走ス鞭ヲ擧ケ馬腹ヲ叩キ疾駆之レ
 努メ苦心焦燥躍起トナリ遁走スル能ハ哀レ
 ニモ亦滑稽ナリ即チ三中隊ハ山地内ニ徒歩
 ニテ其他ハ多心遠乗車追撃ニ移リシニ階段
 狀ノ農耕地ハ車行ニ大ナル妨害ヲ與ヘ騎馬
 逃走スル彼等ヲ射撃ノ外追攝捕捉シ得サ
 リシハ千秋ノ恨事ナリ此頃戰車一輛獲籠

鎮ヨリ帰還追及シ来リシヲ以テ西部那素
 村ヲ掃蕩ノ上更ニ西走セル敵ヲ追撃セシメ
 南走セル敵ニ對シテ山麓ヲシテ追撃ヲ射撃ヲ
 ナサシム當時戦車小隊長ニ與ヘタル支隊
 命令附録第七ノ如ク當時ノ戦斗經過附
 圖亦四ノ如シ

4. 最右翼ノ才之中隊ハ一部ヲ山腹登攀セシメ
 主力ヲ那素北側隘路ニ進入セル敵ヲ追撃
 シ戦車ハ西方山脚ニ沿テ追撃ヲ斷行ス

山砲亦南方ノ敗敵ヲ對シ追撃射撃ヲ續行ス
 敵潰乱四散セルヲ以テ先ツ地形上最モ不利
 ナル北方山地内ノ追撃ヲ止メ次テ全艦ヲ中止ス
 支隊ハ敵ニ多大ノ損害ヲ與ヘ多クノ鹵獲品
 ニ戦勝ヲ祝福シ十七時五十分集結ヲ終リ
 道試帰還ノ途ニ就ク時正ニ十八時五十分
 ニシテ下達セル支隊命令附表才八ノ如シ

五戦事後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
 敵ハ予期セザル我攻撃ニ策ヲ施ス所ナク四方ハ

92

方ニ世俗ニ謂フ蜘蛛ノ子ヲ散ラスカ如ク道走セ
 ル又彼等兵匪ノ常トシテ^或時間ノ経過ト共ニ
 三々伍々便衣トナリ陰山内等ニ^或入りスルナラン
 捕虜ノ着衣及鹵獲馬ノ鞍内ニ隠匿セラレシ數
 種ノ帽子、便衣ヨリモ充分判断セラルル哉
 凌隊ハ是時道試ニ帰還前任務ヲ續行ス

附錄第一
附錄第二
附錄第三
附錄第四
附錄第五
附錄第六
附錄第七
附錄第八

附圖第一
附圖第二
附圖第三
附圖第四
附表第一
附表第二
附表第三

騎旅依命第一八四號騎兵第一旅團命令
騎兵旅團命令(電話三二五九ノミ)
甲第九號村支隊命令
甲第九號村支隊命令
甲第九號村支隊命令
甲第九號村支隊命令
甲第九號村支隊命令
甲第九號村支隊命令
甲第九號村支隊命令

薩拉齊地区敵情要圖
討子号附近村支隊配備要圖
那泰村附近村支隊攻擊經過要圖
同

辻村支隊武器彈藥損耗表
辻村支隊鹵獲表
辻村支隊職員表

那泰村附近戰鬪詳報附表附圖附錄目次

13

考 備 ○印八那 不附近ノ 戦斗ニ参 加セルモ ヲ示ス	衛生隊	旅團無線分隊	無線分隊	自動車小隊	戦車小隊	騎砲兵小隊	山砲兵小隊	歩兵砲小隊	機関銃中隊	第三中隊			第二中隊			發煙小隊	本部			隊別	支隊	隊員	表	
	同	同	分隊長	同	同	同	同	同	同	小隊長	中隊長	同	小隊長	中隊長	同	中隊長	副官	大隊長	職	官	職	氏名		
	同	同	歩軍曹	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
	同	同	騎伍長	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	
	鈴木	渡邊	石津	平田	川口	小作	中澤	須網	阿部	木村	野村	舟橋	根澤	富田	荒井	井戸	加納	山本	内田	倉本	灘波	福岡	辻村	氏名
	貢謙	光一	常男	定雄	辰次郎	武夫	徳太郎	網茂	部登	和佐	村虎	橋鏡	澤頼	田孟	井初	戸武	納正	本霞	田龍	本統	波一	岡吉	村憲	氏名

24

總計	自動車隊	戰車小隊	山砲小隊	發煙小隊	機關銃小隊	第三中隊	本 部	隊 別		區
								校尉官	將士	
								捕虜	武器	四月二十四日 村支隊 鹵獲表
2						2		小銃	彈藥	
8			1	2	1	2	2	小銃	彈藥	
1						1		手榴彈	其他	
3				1		2		洋砲	其他	
1						1		洋砲	其他	
1			1					小銃	其他	
1263			61	151	90	835	126	小銃	其他	
65						65		手榴彈	其他	
38						38		馬鞍	其他	
4						4		被服	其他	
4						4		火藥	其他	
多數			1	多數	多數	多數	多數	鐵器	其他	
多數				多數	多數	多數	多數	圖書	其他	
多數			多數	多數	多數	多數	多數		其他	

附表第二

1898

總計	戰車隊	自動車隊	山砲小隊	發煙小隊	機關銃小隊	第三中隊	本部	隊別		昭和三十四年四月二十四日辻村支隊武器彈藥損耗表
								別	分	
1147		38		115		745	51	三八式小銃	彈	消
22			22					四十式小銃		
700					600	300		九九式重機銃	藥	損
24						24		擲筒彈		
38			38					山砲	燃	耗
20	20							機關砲		
3	3							歩兵銃	武	器
								十一年式輕機銃		
								九九式重機銃	失	
								擲筒		
								山砲		
								機關砲		

163

0283

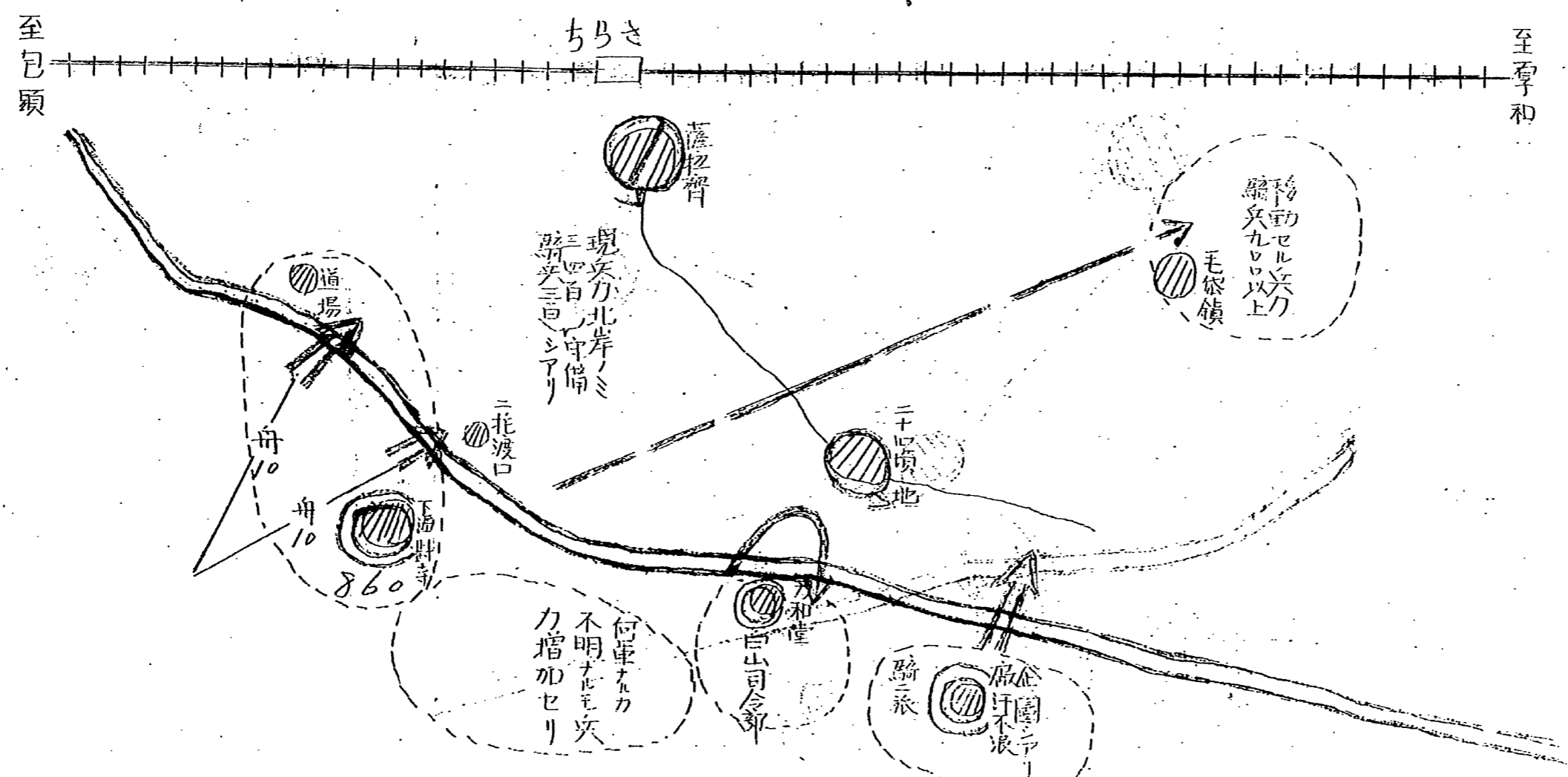
96

1897

薩拉齊地敵情要圖

四月十八日ニ於テ

附圖第一



164

0284

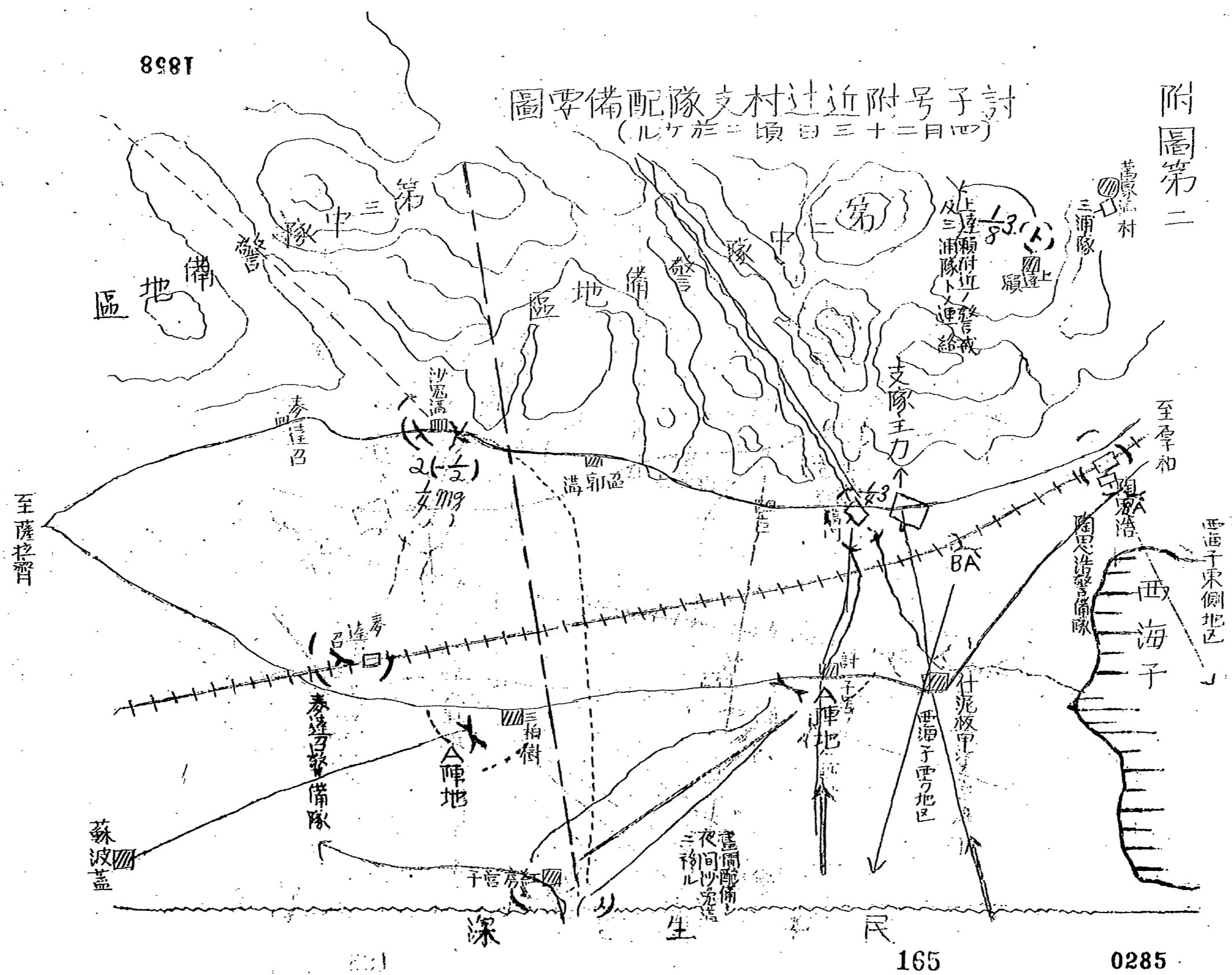
27

898T

討子附近支隊配備要圖

(四月二十二日頃之態)

附圖第二



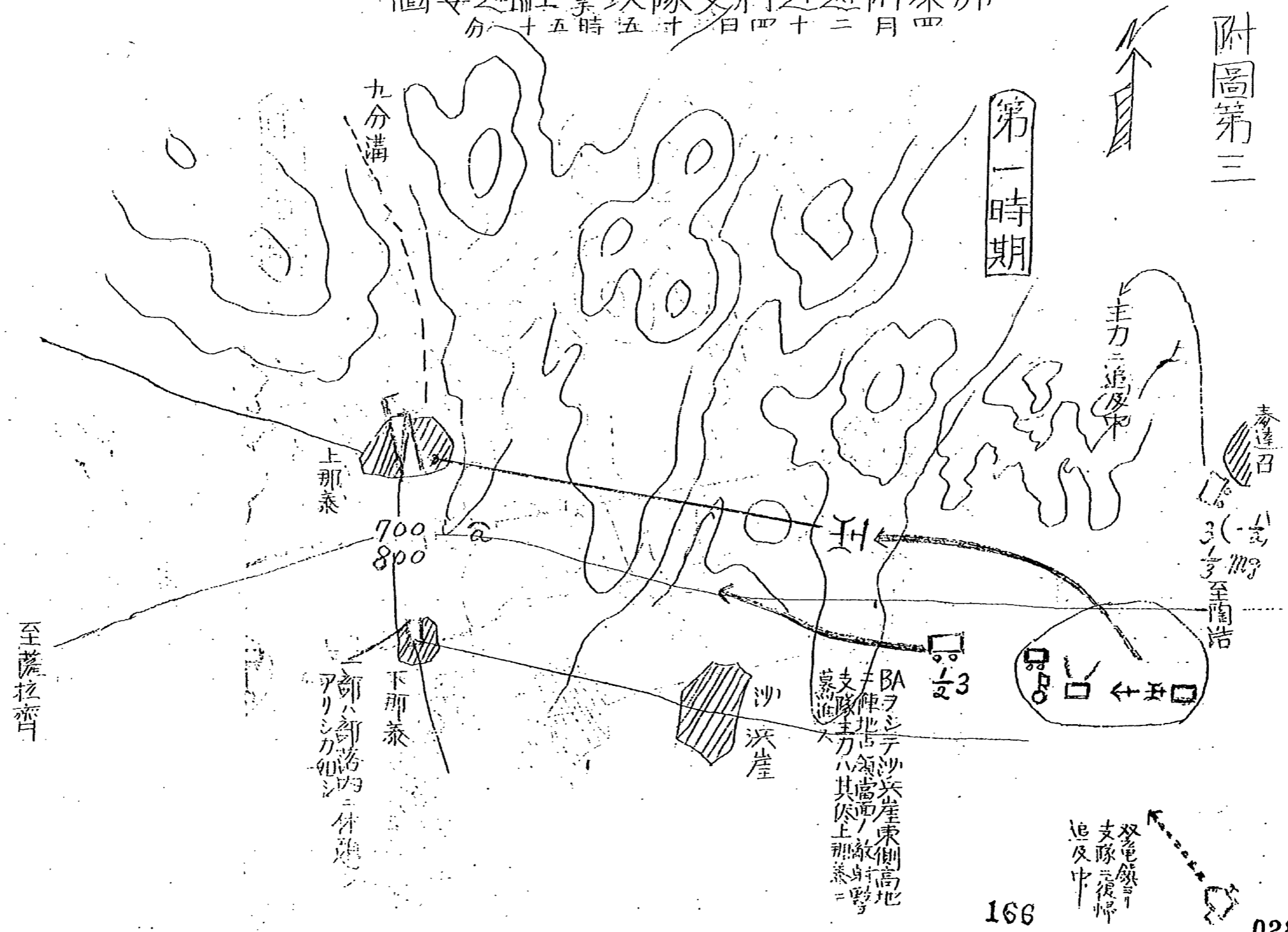
6981

那泰附近近村支隊攻擊經過要圖

四月二十日 十五時五分

附圖第三

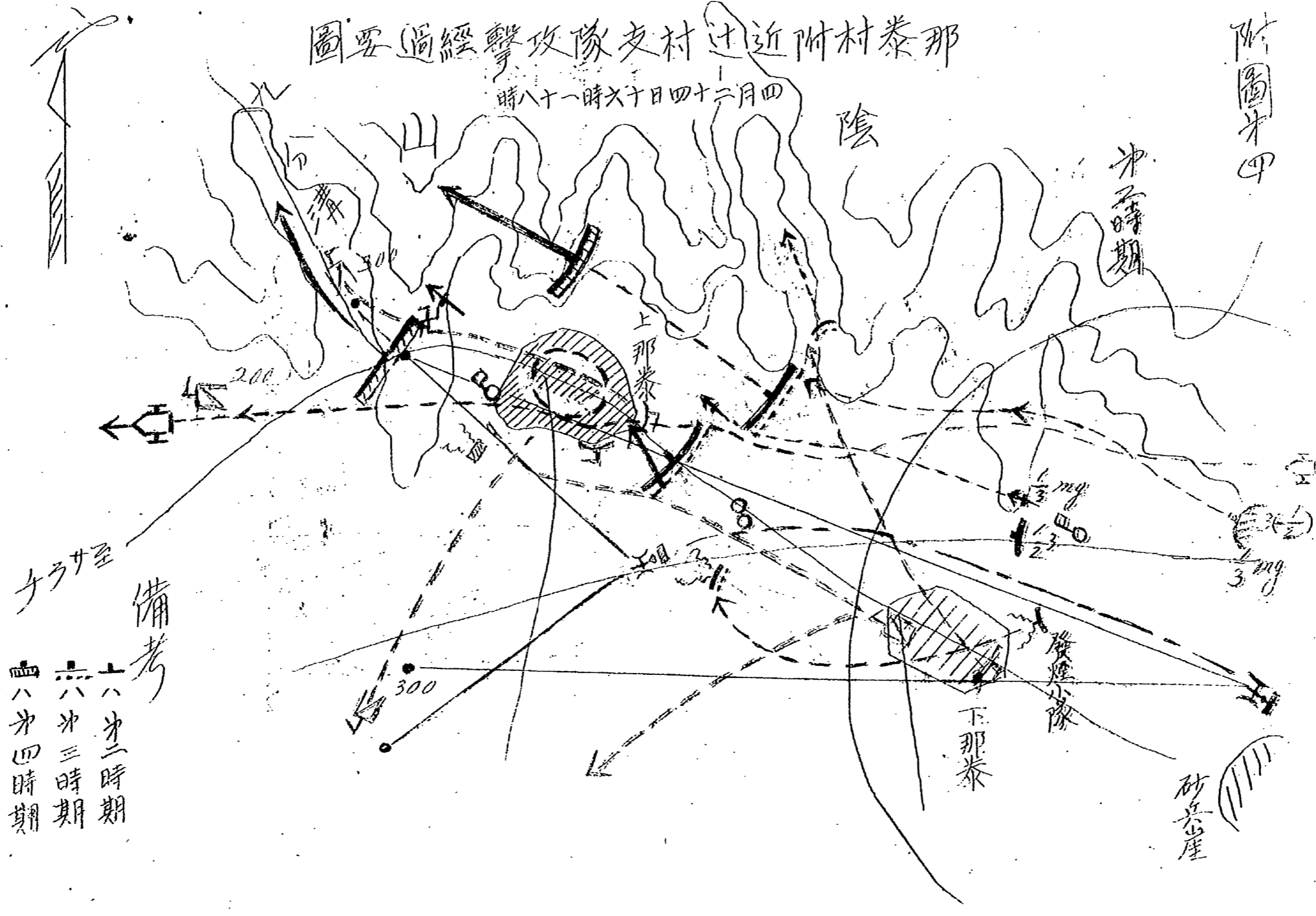
第一時期



那泰村附近迂迴擊隊友村要圖

四月二十四日六時八分

附圖中



至サヲ
備考
六才二期
六才三期
六才四期

1861

附録第一

驛一旅作命第八回辨別紙

軍隊区分

一、辻村支隊

長辻村歩兵中佐

歩兵 三中队

山砲一小隊

野門二門

戰車隊(三小队欠)

168

0288

101

無線一分隊

陶思浩及麥達呂鐵道警備隊

二右側支隊

長佐藤騎兵大尉

騎兵第十四聯隊第一中隊

旅團機關銃二小隊

無線一分隊

三右側隊

前衛

高田中隊

旅團機關銃一隊

野砲二門

本隊（同行軍序列）

旅團司令部

西川中隊

旅團機關銃一隊

騎砲兵中隊（二隊欠）

速射砲一門

1864

五右衛門隊（乘車）

自動車輜重 十五車輛

旅團無線一分隊

騎砲二門

旅團機關銃一分隊

丸谷中隊

長增子少佐

四左衛門隊

無線一分隊

171

0291

1865

1865

長島田大尉

歩兵一中隊

騎兵二十隊

速射砲一門

工兵一十隊

六集成輜重隊

長堀内中佐

前項記載以外、車輛

患者輸送部

172

0292

103

騎一旅作命第八四號

騎兵第一旅團命令

四月二十三日十七時
於陶思洗旅團司令部

一陶思洗方面に於て二十日朝給の通り、殘敵溝門、
隘路口此方に侵入せし外敵兵も進せし

諸情報ヲ綜合スルニ現在、獲龍鎮ニ四〇リ、其ノ西
方壽陽營子ニ二〇リ、其ノ東方王家營子
ニ五〇リ、毛公鎮東方一里、黑沙南ニ三〇リハ敵

兵停止シテ凡ソ如シ

後宮兵團、石丸歩兵大隊ハ獲龍鎮東方三里

173

0293

114

大黒河渡河點ヲ股他ノ歩兵大隊ハ察素齊
及托北台ヲ占領シ東方ニ進走スル敵ヲ拒止ス
姿勢ニ存リ

二旅團ハ明二十三日八時行動ヲ開始シ獲龍鎮附

近敵ヲ已ニ圍殲滅セントス

三辻村支隊ハ現在地附近ノ要點ヲ占領シ敵ノ陰山

内ニ進入スルヲ防止スルニ

四河^右田隊ハ自動車ヲ用リ薩拉齊、二十四頃地
ヲ經テ岱鎮ヲ獲龍鎮ニ向テ當西ノ敵ヲ攻

敷手スヘシ

輜重隊ノ捲護隊トシテ騎兵一小隊ヲ同隊ニ配屬

スヘシ

五右衛門隊前衛ハ陶思造、紅房、宮子、橋梁ヲ經

黒沙面ニ前進シ爾後雙竜鎮ニ向ヒ當面敵

ヲ攻撃スヘシ

1175

0295

105

右被隊本隊ハ七時五十分迄陶思浩驛西端ニ集

合シ前衛ノ後方五〇〇米ヲ行進スヘシ

六左被隊ハ陶思浩其官地ヲ經東西壕岸ニ向

シ前進シ尔後獲龍鎮ニ向ヒ當面ノ敵ヲ攻撃

スヘシ

七右側支隊ハ七時出發南進シ董河營子ニ於テ

大黑河ヲ渡河シ尔後西南方王家營子及

定襄營附近ノ敵ヲ攻撃スヘシ

176

0296

106

1870

八集或輜重隊長ハ右邊回隊及右縱隊ノ爲ニ所
 要ノ車輛ヲ配當シ殘餘ノ主力ヲ以テ所
 要糧秣ヲ薩拉齊、二十四次地ヲ經由シ獲龍鎮ニ
 輸送スヘシ
 之カ爲所要ノ援護隊ハ右邊回隊ヲ配屬セ
 シム
 九月八時集合場ニ存リ午後本隊ノ先頭ニ
 存リテ行進ス

下達法

各隊長ヲ集メテ口達筆記
 佐藤隊ニハ筆記セシモノヲ送付ス

177

0297

附録第二

薩埵齋旅團司令部より電話命令ヲ大隊副官

ノ受領セシモノ

旅團命令

註

四月二十四日十三時三十分
大隊副官受領ス

一今朝来約五〇―六〇ノ敵乗馬部隊ハ北上シ沙兵
崖、那養村ニ侵入目下現在地ニ停止セル模様ナリ
二辻村支隊ハ直チニ此敵ヲ撃滅スヘシ

旅團長

附録第三

つひ第九号

辻村支那命令

四月二十四日
道試小學校支隊本部

今朝約五、六、敵乘馬部隊北上、沙兵崖、那

泰村ニ侵入目下現在地ニ停止セル模様ナリ

二辻村支隊(歩兵中隊機関銃中隊(二小隊欠)

發煙小隊(二小隊欠)山砲兵小隊、衛生機関(一部)

ハ即刻現在地出發沙兵崖那泰附近ノ敵ヲ撃

滅セントス

三前項諸隊(速ニ出發準備)整ハ本部前ニ集

合ス(レ)

四行軍序列及自動自動車ノ配當左ノ如シ

尖兵

第三中隊ノ小隊

自動自動車ニ輛

本隊

大隊本部 (通信衛生其他ノ機関共) 二輛

發煙小隊 〃 二輛

機関銃中隊 〃 二輛

心砲小隊 〃 二輛

水三申隊(二小隊欠四ノ一申隊附ク) 二輛

五第三中隊（一少隊欠）附及來達呂南方

本道上ニ於テ右行軍序列ニ入ルヘシ

六山中尉ハ支隊長本動向在道試殘置兵力

ヲ併セ指揮シ道試附近ノ警備ニ任スヘシ

七平田准尉速刻自動貨車ヲ第四項行軍序

列及配車区分ニ隨ヒ本部前道路上ニ南面シ配

列スヘシ

八倉本軍醫大尉ハ衛生機關ノ一部ヲ區署ニ成ル

可ク多數人員ヲ以テ救護班ヲ編成スヘシ

1875

九平八支隊本部ニ在リ前進ト共ニ本隊ノ先頭
ニ位置ス

支隊長 辻村中佐

下邊法

命令及領者ヲ集メテ下邊筆記

182

0302

附録第四

つ云第九四號

辻村支隊命令

四月二十四日午後五分
於河津峯西側後継

一、敵騎約四百那泰村ヨリ縦隊ヲ以テ進中ナリ

二、支隊主力ハ急進當面ノ敵ヲ撃滅セトス

三、山砲兵小隊ハ直チニ現在地附近ニ陣地ヲ占領

シ共進中ノ敵及同地北側隘路ヲ道入スル敵ヲ

射撃スヘシ

大隊主力ヲ前進ニ伴テ逐次陣地ヲ訶養

近ニ推進スヘシ

1877

山砲兵小隊長
山口達

下達法

支隊長
辻村申佐

194

0304

附録第五
ついで甲第九号

辻村支隊命令

四月十四日十五時
於沙湊崖西側後線

一 敵騎約四百八目下那菴村ヨリ續々北進中

ナリ

二 支隊ハ急進當面ノ敵ヲ撃テ滅セントス

山砲兵小隊ハ現在地附近ニ陣地ヲ占領シ

當面ノ敵ヲ射撃特ニ那菴村北側隘路口

ニ進入スルヲ阻止ス

三 各隊ハ現在ノ態勢ヲ以テ南新那菴村ニ

向ヒ急進スヘシ

四 内田少尉ハ本隊ヲ引率スヘシ

五 支隊長ハ突兵ヲ急進ス

支隊長 辻村中佐

下 蓮去 突兵長、内田少尉、白邊

附録第六

一〇〇甲第九五号

辻村支隊命令

四月三日 由日十六時五分
於下那恭村東側

- 一、敵ハ自下一部ヲ以テ上那恭村附近陣地ニ
領シ主力ハ同地北側隘路口及東南方ニ
遁走中ニシテ其兵力ハ約七百ナリ
- 二、支隊ハ全カヲ展開當面ノ敵ヲ攻撃セシトス
重慶ヲ由高地ニ指回ス
- 三、突兵ハ現在地ニ於テ下那恭村ニ上那恭村ニ
北走スル敵ニ對シ直ニ攻撃ス爾後左端ニ

トナリ廟高地ニ向ヒ前進ス

四 機関銃小隊ハ現在地ニ陣地ヲ占領シ六羽峯

村ノ敵ニ對シ射撃ヲ開始シ爾後根津小隊

ノ攻撃ニ協力ス

五 發煙小隊ハ下羽峯村ノ敵ヲ攻撃シ爾後

支隊ヲ備ナリ根津小隊ハ後方ヲ前進

ス

六 第三中隊(小隊欠機関銃小隊ヲ附ス)ハ支隊ニ追及

スル根津小隊ノ右ニ展開右第一線トナリ

隘路口ニ向ヒ道走スル敵、側面ニ向ヒ攻
撃す（レ）

七山砲兵小隊、那春村附近ニ陣地ヲ推進シ

隘路口及西方ニ退却スル敵ヲ射撃す（レ）

八倉本大尉、下那春村附近ニ救護所ヲ

開設シ、時傷者ノ救急ニ任ス（レ）

九子八根津小隊、後方ヲ前進ス

支隊長 辻村 中佐

下崑嶽

到着部隊毎々各隊ヨリ連隊第三中隊、主力及山砲兵
小隊長六傳、今ノ字口、壘セシム

031

189

0309

113

附録第七

乙甲第九天号
辻村支隊命令

四月二十四日十六時
於下那茶村西側

一、敵ハ支隊ノ急襲ニヨリ散ヲ乱シテ北西、南方ニ
遁去中ナリ

二、支隊ハ目下遁去中ノ敵ニ對シ主カヲ以テ西方

ニ一部ヲ以テ隘路口ニ向ヒ追撃ヲセントス

三、戰車隊ハ道ニ上那茶^村ヲ掃蕩シ爾後西去ス

ル敵ヲ急追スヘシ

支隊長 辻村中佐

1884

下達志
戦車隊長三下達

191

0311

附録第八

第第九号

村支隊命令

四月二十四日 時分
於上那米西側

一 敵ハ我猛烈ニ為ニ龍木ニ遇ヒ一部抵抗ニタレノニ

二三ノ周章狼狽今ヲ為ス所ヲ知ラス四散セリ

二 支隊ハ追撃ヲ中止シ原駐地ニ兵力ヲ集結シ

前任務ヲ續行セントス

三 行軍部四者故ノ如シ

四 第三中隊ハ小隊欠ルハ小隊ヲ屬スハ途中ヨリ分進シ

依然及遠西ニ位置シ前任務ヲ續行スヘシ

五爾會 諸隊ハ道試級還ト共ニ依然前任務ヲ
續行スハシ

六支隊本部道試到着ト共ニ本年第九三号ニ
依ル山本中尉ノ任務ヲ解除ス
七予ハ支隊本部ニ在リ

支隊長 辻村中佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム